

めあかん自然塾シンポジウムvol.1 in 足寄

雌阿寒岳の自然と 山麓に生きる野生動物

＜ノルウェーの生態学者 Dr.ハリーが見た雌阿寒の自然＞

日 時:平成24年7月28日(土)
13:00～16:00

場 所:銀河ホール21大ホール
入 場:無料

13:30～14:10/阿寒湖自然保護官 菅野 康祐氏

「阿寒国立公園と雌阿寒岳周辺の自然」

14:30～15:45/基調講演:ダンカン・ハリー博士

Akan-the world heritage value of one of the world's great National Parks

「阿寒—世界遺産に値する世界有数の国立公園」

15:45～16:00/質疑応答

主催:めあかん自然塾

共催:足寄町・環境省釧路自然環境事務所・NPO法人足寄観光協会・十勝総合振興局

後援:NHK帯広放送局・北海道新聞社帯広支社・十勝毎日新聞社・ソーゴー印刷株式会社・北海道火山防災サミット2012 in 雌阿寒岳地方実行委員会

〈お問い合わせ/0156-29-7143〉



めあかんだけ

阿寒国立公園に属する雌阿寒岳は現在も活動を続けている活火山です。周辺山麓は、アカエゾマツの純林やオンネトー、マンガン形成が見られる湯の滝など、自然が豊かな地域です。

オンネトーは、天候や風向により色合いが変わる「五色沼」とも呼ばれ、年間約45万人もの人々が訪れる景勝地。また日本百名山の一つに数えられる雌阿寒岳には、年間1万人を超える登山愛好家が訪れます。

今回のシンポジウムは、これらの自然を次の世代にも残していけるように、長年野生動物（とりわけ鳥類）を研究してきた生態学者「ダンカン・ハリー博士」をお迎えし、鳥たちの目線に立った雌阿寒の自然をテーマとする講演を企画しました。また、「阿寒国立公園と雌阿寒岳周辺の自然」について阿寒湖自然保護官事務所 自然保護官 菅野康祐氏にお話していただきます。「めあかん自然塾」は身近な自然の価値を再発見することを目的として、共に学びの心を持って活動しようとの思いで発足しました。この機会にぜひたくさんの方々に、雌阿寒岳周辺の自然の神秘を少しでも感じとっていただけたらと思います。



「野鳥塾」※定員20名(先着順)

日 時:平成24年7月29日(日) 10:00~14:00

場 所:雌阿寒岳山麓(オンネトー周辺)

持ち物:お弁当、飲料水、筆記用具、双眼鏡、雨具、その他

内 容:ダンカン・ハリー博士によりオンネトー周辺の野鳥観測

主 催:めあかん自然塾(問:0156-29-7143)



ダンカン・ハリー博士のプロフィール

セント・アンドリュース大学心理学科BSc(心理学・生態学)、セント・アンドリュース大学生物学専攻PhD(動物学)、ノース・カロライナ大学留学。現在、ノルウェー自然科学研究所(Norwegian Institute for Nature Research)一等研究員。

他に、北海道環境科学研究所研究員、北海道大学研究員、山階鳥類研究所学術雑誌編集委員を歴任。

専門は動物保護に関する生物学、生態系修復に関する生態学。現在、特に風力発電の環境(主に野生動物)への影響を調査研究、原発に代わる自然エネルギーの環境への問題性を追究。ヨーロッパ連合(EU)の、環境及び社会への影響を配慮しつつ風力発電の開発を推進するGood Practice Windというプロジェクトに携わっている。